

第1回市民文化ホール企画・運営委員会議事概要

日 時	平成 24 年 10 月 1 日(月) 19 時 00 分～21 時 30 分
場 所	福祉会館 3 階会議室 1
出席者	委 員 徳永幸夫、井上仁、鈴木太、土谷浩也、三谷一恵、一色隆輔、篠原繁雄 矢野正樹、山本淑子 事務局 利藤企画財務部長、河村市民文化ホール等整備課長、田辺課長補佐、 今村課長補佐、中山係長、加地係長、福田係長、佐藤 支援コンサルタント 空間創造研究所 米森
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	

(協議概要)

項 目	協議概要
<p>■市長あいさつ</p> <p>■委嘱式</p> <p>■委員、事務局紹介、委員長あいさつ</p> <p>■企画・運営委員会について</p> <p>(1)傍聴要領、議事概要について</p> <p>(2)企画・運営委員会概要について</p>	<p>○事務局:傍聴要領・議事概要について説明</p> <p>○委員:委員会の開催会場は決まっているのか。また、傍聴席とはどのようなものなのか。</p> <p>○事務局:会場は決まっていないその都度決定する。傍聴席については、同じ会場内にイスを用意し傍聴席とする。</p> <p>(他に意見無し。)</p> <p>・傍聴要領、議事概要の公開について委員の了承を得られたので、傍聴人の入場を許可。</p> <p>○事務局:企画・運営委員会の概要について説明</p> <p>○委員:企画・運営委員会の第一の目的は、企画運営基本計画(案)を作成することだろう。長野市の基本計画は平成 22 年 9 月から平成 23 年 12 月まで 31 回のワークショップを開催して作成しているが、四国中央市は半年で行おうとしている。無理があるのでは。スケジュールを延ばす必要があるのならば延ばすこともできると事務局から説明があったが、来年 3 月以降どういう形でオープニングを迎えるのかという全体的な計画、構想がないままこの計</p>

<p>(3) 企画運営基本計画(案)、 検討項目について</p>	<p>画に入っても、この委員会は形だけするのかということにしか今の時点では捉えられない。</p> <p>○事務局:このあとの協議項目にもあるが、企画運営基本計画の検討項目の中には、開館にむけてどのようにするのかという項目も含まれており、今後の細かなスケジュールも含めて委員会で決めていきたい。</p> <p>○委員:工事の発注はいつ頃の予定か。発注時期に合わせて設計や企画運営委員会の提言を進めていくようになると思うが、タイムリミットをどこに設定しているのか。</p> <p>○事務局:9ページの資料の日付については、平成25年12月を平成24年12月に修正をお願いしたい。</p> <p>現在は、日建設計と建設委員会と協議しながら、基本設計を進めている。この基本設計の中に企画運営に関して意見を述べていただく提言をお願いしたいと考えている。基本設計終了後に実施設計を行う。これが平成25年度前半に終わることを目標にしているので、工事は25年度中に発注する予定で考えている。なお、それ以前に造成工事等については一部着手することが考えられる。</p> <p>○委員:平成24年12月までに提言したものに関しては、基本設計に反映されるのか。</p> <p>○事務局:今年中に提言されたものであれば反映される。</p> <p>○委員:提言の時期については、運営主体やオープニングイベントについてなどの項目を具体的に計画に載せようとするのなら、開館までのスケジュールが延長されることになったとしても、一応来年3月までに基本計画を作成するという目標を立てなければいけないと思う。ただ本当に今の会の進め方や内容でできるのか。5つある協議項目を毎月1回の開催で議論して、さらに市の検討委員会と調整しながら進めていくのに実際にできるのかと思う。最初の段階で委員会の取り組み方を確認しなければいけない。</p> <p>基本計画を作るだけつくり、後は運営主体に任せるということになると、実際の運営に基本計画が生かされていないということになりえない。建設委員会と同じで竣工まで見届ける必要があるのでは。来年3月で終わりという流れを作っていることに違和感を感じる。</p> <p>○委員長:この後の協議項目とも重複するので、その時に事務局より説明を求める。</p> <p>○空間創造研究所:資料により説明。企画・運営基本計画は、ホールの目的・役割を達成するために、ホールでどのような事業を、どのような人材でどのような規則に基づいて行うことが四国中央市として望ましいのか。この施設の根幹に関わることを実際の運営を想定しながら協議していくもの。</p> <p>管理運営体制を直営にするのか指定管理者制度を活用するのかにより、スケジュールが変わってくるので、庁内検討会で早急に管理運営体制を検討し</p>
--------------------------------------	---

て企画・運営委員会に提示することが望ましい。

○委員:これだけの協議項目が、来年3月までに煮詰めることができるのか。基本計画が出来た後、間違いなく基本計画が反映されているのか、状況により変更すべき事項がないのか、基本計画の実現に向けて支援・協議すべき事項がないのかなど、そういったところが来年3月以降に出てくるのではないのだろうか。こういったところが何も見えてこない。基本計画をつくるまでが企画・運営委員会の役割だというのならそれでいいが、その後どのようにバトタッチしていくのか確認したい。例えば来年3月以降、そのまま企画・運営委員会が引き継ぐのであれば企画・運営委員会の目的に、「基本計画の実現に向け協議・支援・検討を行う」ということも必要では。来年3月以降どうなっていくのかを確認したい。

○空間創造研究所:一般的な流れとして、委員会では基本計画(案)を作成していただく、これを受け市では基本計画を策定する。次の段階として基本計画を基に利用料金や開館時間など具体的な事項を示す管理運営の実施計画が庁内でまとめられる。管理運営の実施計画を基に、その内容に適合する管理運営者の選定を行う。指定管理者制度を活用する場合は、実施計画が公募の際の募集要項となりまた、業務の基準という形で反映される。指定管理者の運営が始まった後は、業務が適正に行われているかの検証するモニタリングを行う。実施計画はその材料として反映される。一般的には市民参画については市の方で、ある程度実施計画の中でまとめられる。それが整備された後に、市民が主導となって事業に参画できるような組織作りを行って、その組織と指定管理者や直営の場合は市と協働で事業を行っていく。基本計画はずっとつながっていくもの。

○委員:平成27年度の開館までに時間がある。来年3月時点で作成した基本計画がその後基本計画どおり実施計画が出来上がる。その後何かこういった委員会組織の中で協議検討すべき必要はないのか、それともそこから先は実施計画だけでしか進んでいかないのか。建設委員会は建物の完成に至るまである程度協議を続けていくこととなっているが、来年3月で企画・運営委員会が終わるとするのはどうか。

○委員長:他市の事例として、基本計画の策定をした組織が基本計画の策定後そのまま開館後も運営に携わっている様な事例があるのか。

○空間創造研究所:可児市文化創造センター、武豊町民会館などは会館後も市民が主体となってNPO等の組織を立ち上げるなど運営に携わっている。

○委員長:どこかで線を引いて、この会は終了するとあえて決めなくてもいいのか。

○空間創造研究所:行政主導で委員会を解散するのか、市民主導である時点でそこからは運営に参画していくという強い意志で委員会を解散するなどいろいろと方法はあるが、企画・運営委員会の協議を行っていく中で、考え方を整理していく。ただし、管理運営者をどのように選定していくのかにより

<p>■市民文化ホール基本構想について</p> <p>■市民文化ホール基本設計について</p>	<p>スケジュールは変わってくるので、庁内検討委員会の中で、こういった方式でこういった管理者を選定するのかを先ず定めてスケジュールを明確にする。明確になったスケジュールを委員会に提示させていただき、そこから協議を行っていくのが望ましいと思う。</p> <p>○委員：企画運営基本計画は、庁内検討委員会からたたき台を示しそれを受け企画運営委員会で内容を精査していくと言うことでよいのか。</p> <p>○事務局：0から作り上げていくというのは時間的にも、またどこにポイントを置くか非常につかみにくいと思われるため庁内検討委員会においてたたき台を作って委員会で協議していただいて作り上げて行きたいと考えている。</p> <p>○委員：そうしてほしい。0から作り上げていくのは非常に時間がかかるので、たたき台を示していただき協議していくのがいいと思う。ただし、第1回目には、先ほど空間創造研究所が言っていたように運営主体をどうするのかを協議したほうがいい。それにより半年でできるのかスケジュールを延ばす必要があるのかがある程度分かってくるのでは。1回目は、協議項目の順番は違うが、運営主体について検討する方がいいと思う。</p> <p>○委員長：次回の会までに市庁内検討会で検討した原案を示されるか。</p> <p>○事務局：その方向で準備している。</p> <p>○委員：次回の会に設計の概要を説明していただきたい。</p> <p>○委員長：本日の次の協議項目で説明予定。</p> <p>(まとめ)</p> <p>基本計画(案)の作成については、庁内検討会の意見をまとめた、たたき台を基に企画運営委員会で逐次検討協議していく方法をとりたい。庁内検討会と企画運営委員会がキャッチボールをしながら煮詰めていく方法で進めて行きたい。</p> <p>○事務局：資料、模型にて説明。</p> <p>○事務局：資料、模型にて説明。</p> <p>各委員より一言</p> <p>○委員：基本構想策定委員会から3年、より良いホールを作ろうということでやってきた。基本構想に設計がそぐうのかということで建設委員会を進めている。半年たったが、我々が思っていた基本構想と設計の間にずれが生じてきているのかなと思っている。建設委員会の中でもいろんな方向性を探っている途中である。ハードについては基本構想に沿った形のものを市民目線で作っていきたいとの思いで建設委員会で協議している。建物を生かすも殺すも運営が大事だと思う。市民文化ホールをいいものにしたいたいという思い。運営が非常に大事になってくると思う。形だけの企画運営委員会ではちょっといい市民会館となってしまう。そうはなりたくないという思いがある。忌憚のな</p>
---	---

<p>■その他</p> <p>(1) 次回日程、定例開催曜日について</p> <p>(2) 合同視察研修について</p>	<p>い意見を出していただいて、建設委員会とのやり取りは、委員会に参加している建設委員会メンバーが委員会で出た意見を取りまとめてやっていきたい。協力をお願いしたい。</p> <p>○委員：高校の教員として参加している。高校の文化部はホールを使う機会が非常に多い。そのときの利便性や音の反響についてなど気になる事もあるので今後お伺いしたいと思う。また、市内3高校とも協力して市民文化ホールでいろいろな催物ができていけば、このホールが四国中央市のものとして認識されていくことにもなると思うので、ぜひ参加協力させていただきたいと思う。</p> <p>○委員：事業費が56.4億円となっている。施設の使用料金を設定する時には管理費だけにするのか建設費の一部を使用料金に含めるのかを考える必要がある。現在の事業費の概算、これから合併特例債を利用して建設するにあたって、利息を含めた償還がどのようになるのかを資料として出していきたい。</p> <p>○委員：庁内検討会での原案をたたき台にするのであれば、次回の委員会の資料を事前にいただきたい。</p> <p>○委員：このまちで、お芝居を続けて十数年になるが、やっとここまで来たかという思いで臨んでいる。施設の使い勝手もそうだが、管理する人間や、市職員に理解が得られなくて今までホールに苦しめられてきた。こういう協議の場があることに感動している。協働という形で、立派な施設について話し合っていける。本当に熱い思いをもってやればかなりのことが出来ると信じてやっていきたいと思う。</p> <p>○事務局：11月上旬の木曜か金曜、夜間19時開会で調整したい。資料は事前に送付したいと考えている。</p> <p>○事務局：建設委員会・企画運営委員会合同視察研修の案内。</p> <p>(閉会)</p>
--	--